

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
天理市	天理市立朝和小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

あさわっ子元気アップ応援団 一子どもも学校も地域も元気になろうーをキャッチフレーズに「地域と共にある学校づくり」をめざして、保護者や地域の方々が学校運営に参画し、教職員と協働して学校の課題解決を図っていく。

2 取組の概要

【読み聞かせ活動】



年度当初に、読み聞かせボランティアの方と学校図書担当で、読み聞かせの方針や今後の計画について話し合いました。水曜日を読み聞かせの日として設定し、全学年を対象に、どの学年も学期に1～2回の読み聞かせをしています。表情豊かな読み聞かせは、子どもたちを絵本の世界に引き込み、どの子も真剣に聞き入っています。

また、今年度は、学校・地域パートナーシップ事業の予算で新しく絵本を購入し、読み聞かせ活動の充実を図りました。

【クラブ活動支援】



学年・学級の枠を外した4年生以上の児童全員が、年間8回のクラブ活動に参加しています。学校では、クラブ活動をより充実させるために、年度当初に学校支援地域本部と学校のクラブ担当が外部講師の招聘について話し合いをもつようになっています。その結果、今年は17あるクラブの内、茶華道や卓球など10のクラブに12名の地域の方や大学生を外部講師として招くことができ、専門的な指導のもと子どもたちは楽しく活動することができました。

【入学当初の1年生の付き添い下校・登下校見守り支援】



1年生は、入学後約2週間は給食前に下校するため、付き添い下校が必要となりますが、教師だけでは人数が足りない現状があります。そのため、この期間は、民生・児童委員協議会で事前に付き添い下校の計画を立てていただくとともに、委員の方々が主となり、PTA役員及び保護者と共に1年生に付き添って下校し、安全の確保に努めていただきました。

また、平成23年度からPTA青少年健全育成部が主体となって、不審者を寄せつけない校区づくりを目指した「安全パトロールベスト」着用推進に取り組み、70名を越える保護者や地域の方々に、主として下校時の子どもたちの見守り活動をしていただいています。

【環境整備活動】



より良い学校環境づくりを目的とした、お父さんを中心とした集まり『オヤジの会』で、夏休み中に校庭の遊具や玄関の門扉のペンキ塗りを職員とともに行いました。2学期に登校してきた子どもたちも綺麗に塗り替わった遊具に大喜びでした。この活動を通して、お父さん同士また職員とも交流を深めることができました。また、地域のボランティアの方たちに自転車のパンク修理やメンテナンスをしていただきました。職員ではなかなかできない作業も快く引き受けていただいたことに感謝し、家庭訪問や巡回等に活用させていただいています。